



※画像はイメージです

ネモフィラから「色彩の競演」へ。 東京ドイツ村、13万株のペチュニアとキンギョソウが織りなす初夏の絶景が誕生！

東京ドイツ村（所在地：千葉県袖ケ浦市・運営：明和興産株式会社）は、2026年5月中旬より、初夏の風景を一新する「ペチュニア」と「キンギョソウ」の見頃を迎えます。

これまで「いろどりの丘」を彩り、多くのお客様に親しまれてきたネモフィラに代わり、今年は情熱的な5色のペチュニアが斜面を埋め尽くします。さらに、その丘を越えた先には、関東最大級のスケールを誇るキンギョソウの絨毯が広がります。

初夏の陽光に映える、総計約13万株の圧倒的なフラワーステージをぜひご覧ください。

■ 見どころ1：斜面を染め上げる「5色のペチュニア」

これまでのネモフィラのイメージを鮮やかに塗り替えるのが、当園の名所「いろどりの丘」に広がるペチュニアです。

場所：いろどりの丘（斜面）

規模：約13,000㎡ / 42,000株

カラー：5色（レッド・スノー・ピンク・イエロー・ロイヤルベルベット）

見頃：5月中旬～7月中旬

特徴：丘の斜面を活かした植栽により、まるで色とりどりのドレスを広げたような立体的な景観が楽しめます。ネモフィラの淡いブルーとは対照的な、力強く鮮やかな色彩がゲストをお迎えします。

■ 見どころ2：新農地に広がる「6色のキンギョソウ」

「いろどりの丘」を登り切った先に現れる広大な新農地では、キンギョソウが圧巻のスケールで開花します。

場所：いろどりの丘を登った先の新農地

規模：約18,000㎡ / 94,000株

カラー：6色（カーマインローズ・ホホワイト・ピンク・イエロー・ローズ・オレンジ）

見頃：5月中旬～6月中旬

特徴：まるでパッチワークのような色彩の絨毯が水平線まで続くかのような開放感。キンギョのような愛らしい花々が風に揺れる姿は、思わずカメラを向けたくなるフォトジェニックな空間です。

広報担当者よりメッセージ

「今年は『ネモフィラはないの?』というお声もいただくかもしれません。ですが、実際にこの丘に立っていただければ、その不安は一瞬で吹き飛ばすはず。ペチュニアの躍動感と、キンギョソウの圧倒的な密度。東京ドイツ村が提案する『新しい初夏のスタンダード』を、ぜひその目で確かめてください！」

【施設概要：東京ドイツ村】

・所在地：千葉県袖ケ浦市永吉419

・営業時間：9:30～17:00（最終入園 16:00）

・公式サイト：<https://www.t-doitsumura.co.jp/>

内容は急遽変更になる可能性があります。事前にお問い合わせください。